

特集 表彰学生プロジェクト
～第8回(2021年)理学部同窓会賞 受賞者にインタビュー～

化学科 北原綾都さん

WEB (Zoom) インタビューにて

2021年8月10日

インタビューアー 真船貴代子、神山和士



—最初に現在の状況を教えてくださいませんか？

大学を卒業して、就職して複合機メーカーのシステムエンジニア職として働いています。会社は、富士フイルムビジネスイノベーションです。今年4月から社名が変わって富士ゼロックスから富士フイルムビジネスイノベーションとなっています。

—具体的にどんなお仕事ですか。

システムエンジニア職なので、複合機のシステムやオフィス関係のドキュメントなどを整理するようなシステムを作る仕事です。今はまだ先輩方のお仕事を見学させていただいて徐々に仕事を覚えているような状態ですね。

—お仕事は、リモートが多いですか。

研修が4月、5月、6月の最後までありまして、4月中はずっとリモートでやっていました。5月のゴールデンウィーク明けぐらいから入社するようになりました。

—卒業研究について教えてください。

卒業研究は、大野研究室で水銀の同位体に関する研究をしていました。

例えば原子番号1が水素であることは有名だと思うのですが、水素にも一粒の重さが1である水素と、一粒の重さが2である重水素、そして一粒の重さが3の三重水素というものが存在しています。このように原子番号が同じ元素でも重さの違うものを同位体といいます。自分が研究していた水銀にも7つ同位体が存在していて、自然界ではそれらの存在する割合が基本的にある一定の値をとることが決まっています。しかし、その水銀が物理的な変化とか化学的な変化を起こす事で、その一般的な存在の割合から、ちょっとずつ割合がずれることがおきます。この同位体の存在割合からのずれを観測することによって、測定した水銀がどんな変化をしてきたのかという軌跡をたどることができます。水銀は危険な物質なので、その発生環境や軌跡を辿ることで将来的に被害を抑えるような研究をしておりました。

—その研究のご苦労とやりがいを伺っています。

4月に研究室生活が始まった時はコロナ真っ只中で、緊急事態宣言下で研究室に行けませんでした。研究の最初の段階が滞ってしまった事が最初に苦労した点です。1・2・3年生までの大学生活と研究室に入ってからの大学生活はガラッと変わって、大学院生の先輩方とか新たな友達と輪を広げていかなければならないところで、研究室に行けなかったことでとても苦労しました。

やりがいとしましては、そこを乗り越えて徐々にペースを掴んで行って、研究も自分なりに計画を立てて、コロナ渦で研究室にずっと通いづらい状況でも、この日集中的に実験をやるとか。この日は家でデスクワークをすとか切り分けをして、無事に卒業研究を終わらせることができたというのが自分の中でやりがいだったと思います。

一同級生で大野研究室に入られた方は何人ぐらいいらっしゃるのですか。

自分を含めて6人で、男3人、女3人です。

(実験装置1)



(実験装置2)

水銀サンプルに紫外線照射装置で紫外線を照射

なるべく研究室に留まりすぎないで欲しいということから、研究室に居る時はなるべく早く研究をやっちゃって、その資料をまとめたりミーティングをする時は大野研究室はオンラインという形をとっていました。

—どうやって水銀の同位体の存在の割合がずれて行くのを観察して行くのですか。

MC-ICP-MS(マルチコレクター誘導結合プラズマ質量分析装置)という重さを測る機械がありまして、物質の原子の一個一個の粒ごとの重さを測り分けられます。その機械を使って、水銀の一塊に対してこの重さの粒が何割あって、この重さの粒が何割ぐらいあるというのを同時に測っているのです。

—これまで行われた実験が将来的にどういうふうに役に立つのでしょうか。

日本では水俣病で知られていますが、水銀って結構危険な物質で、世界的に見るとまだ被害が懸念されています。例えば水銀が多い地域だったらその発生源が何処になっているのだろうとか、水銀が多く含まれている魚だったら、その水銀がどのように魚の体内に取り込まれたのかなどを辿ることによって被害を抑えようということになります。

—そうすると実験している北原君も危ないのですか。

実験室で扱うレベルなので、そこまでの危険はなかったと思います。水銀の濃度が濃いものを扱う時は、注意して実験を行っていました。

一次に大学生活について伺います、クラブ活動とか、アルバイトしていたとか。

大学では特にクラブ活動はしてなくて、大学1年生の夏休みから4年生の2月くらいまで地元のコンビニエンスストア、ファミリーマートでアルバイトをしていました。



(卒業式 大野研)

—5年後10年後の夢も伺っているのですが。

まずは近い将来の夢だと、なるべく早いうちに自分が業務をこなしてお客様に価値を提供できると思いますか、自分の職業でいうとシステムエンジニアなのでお客様のためになるシステムを自分で組み上げられるような形になって行きたいです。10年後とか遠い目的としましては、システムエンジニアは一つのお客様のお困り毎に対してグループで対応していく形が多いのですが、そのグループのリーダーになってその一人一人の作業を考えたりスケジュールを考えたりして、グループ全体を指揮していけるような人になって行きたいなというのが今の思いです。

—同期入社は何人ぐらいいらっしゃるんですか。

全体で200人弱ぐらいいて、システムエンジニアだけで100人弱です。

—そうですか。ちなみに男女比は？

全体だと営業さんなどの同期もいるので男女比は1:1ぐらいだと思います。システムエンジニアでいうと多分6:4か7:3ぐらいで男性の方が多いのかな。

—社会に入ってまだ3ヶ月ぐらいですが、学生時代と変わった事ってありますか。

大学4年生の研究室時代から感じていた事ですが、自分から主体的に動かないと物事は進んでいかないと、社会人になってから特に感じています。卒業研究も、今社会人になってからも、ただ自分でぼーっとしては誰も何も教えてくれない。もちろん助けてはくれるんですけど、それ以上に自分から何かやることありますかとか、何か手伝えることありますかといったりすることで、より良い方向に物事が進んで行く。社会人になった感想としては、主体的に自分で動いて行かなければならないととても実感しています。もう一つは、時間の意識ですね。会社に入ってから研修で納期を意識しろと滅茶滅茶言われました。学生だったら遅刻しても多少怒られて終わりみたいなところがあると思うのですが、社会人として納期を守れなかったとなると、ただ怒られるだけではすまされない。もちろん自分もダメだし、周りにも迷惑がかかってしまうので時間を守ることはとても大切なのだと思います。

—時間の意識をかなり持っておられるので前途有望かなという感じがしましたね。

—そもそも化学科を選んだ理由は何かありますか。

それは中学生のころに、担任の先生が理科の先生で、結構月並みなのですが、その先生

が若い男性の先生で凄く優しくて気さくに話をしてくれたりしたので、理科が好きになりました。そのまま高校でも化学をいろいろ勉強して、大学も化学科を選びました。

—趣味は何か？

昔からの趣味でいいますとゲームをすることです。休みの日や特に何も無い日には、わりと家でゲームをしたりしています。会社に入ってからからは社宅に入って一人暮らしをしています。最近は家事全般、料理も何作ろうかなみたいに考えながら楽しんでいます。

—お料理もできるし洗濯もできるのですね。

一応自分の分だけなので、自分なりに頑張っているつもりです。

—かなり自立していますね。一人暮らしはこれから先役に立ちますよ。

好きな食べ物はなんですか？

月並みかもしれませんが、普通に焼肉とかお寿司とか、あとはオムライスも好きです。

—自分でオムライスを作ったりしますか。

1人暮らしで1回作りました。ケチャップライスから作ってというのと、とても大変だなと思いました。



—お酒はどうですか。

お酒も凄い好きです。

焼酎とハイボールが苦手なんですけど、それ以外だったらビールでもサワーでもワインでも日本酒でもわりと幅広く。

—素晴らしい。焼酎がだめだというのは珍しいですね。

何か匂いがだめで。美味しく飲める焼酎があったら知りたいと思う。

—焼酎にも色々あって、芋系はちょっと匂うけど麦系だったらさっぱり飲めるよね。

今度挑戦してみたいなと思います。

—今は会社の人たちと飲みに行くことも無いですよ。

同期の人たちとも上司ともまだ実際に一回も飲みに行くこともなくて。

ちょっと話が戻ってしまうのですが、うちの会社はフリーアドレスといって、自分の席が決められていないのです。みんな好きな所に座っているんですよ。

ワンフロアがあって、その中で所属グループなど関係なしに好きな所に勝手に座って良いのです。来週ようやくグループの顔合わせがあるので、そこで初顔合わせです。

—将来有望なので期待しております。

『想』という会誌は皆さんの記事を載せていくところなので、将来チームリーダーとして活躍している頃、ぜひ『想』に記事を書いて頂きたいですね。

頑張ります！

—お忙しいところどうもありがとうございました。



(会社の同期とリモート飲み会)

